

## 基本目標5 子どもはむらの宝《子育て・教育・文化》

### 施策の大綱 1

## 子育て支援の充実

### 現状と課題

本村では、地域子育て支援拠点事業としての「陽だまりサロン」や「病後児保育事業」などを実施し、安心して子育てができる環境づくりに努めてきました。また、保育料の軽減など経済的な支援を実施し、子育て支援の充実も図ってきました。

しかし、本村における少子化傾向は続き、家族形態の多様化による家庭での子育て力の低下や地域とのつながりの希薄化が懸念されます。

親子が地域で孤立することがないよう、子育て支援に関わる関係機関が連携し、地域全体で親子を支える体制づくりの強化が求められています。

児童福祉では、「球磨村子ども子育て支援事業計画」を踏まえ、子どもを安心して生み育てることができる子育て環境の構築を進めています。

子育て支援はもとより、働きながら子育てをしている世帯の生活支援、子どもたちの健全育成のためのメニュー充実、支援体制の確立などが求められています。

### めざす姿

子育て世代が安心して子育てできる環境づくりと子育ての支援の充実により、子育てしやすいむらづくりを目指します。

### 施策体系

#### 子育て支援の充実

- (1) 子育て支援体制の充実
- (2) 職業生活と家庭生活との両立の推進
- (3) 子どもの安全確保
- (4) 支援を必要とする子どもや家庭への支援

## 施策の展開(公助)

### (1) 子育て支援体制の充実

- ◆子どもや保護者が気軽に立ち寄ることができる場として、地域子育て支援センターを支援します。
- ◆義務教育と連動した「学び」へのスムーズな移行を図るため、保・小・中連携を強化します。
- ◆子どもたちを有害な環境から守る対策を強化し、青少年が健やかに育つ環境づくりを推進します。
- ◆行政と地域の連携を図り、子育て世代間の交流の場づくりを推進します。
- ◆子育て世帯への経済的な支援を継続して行います。

### (2) 職業生活と家庭生活との両立の推進

- ◆多様な働き方の実現と、男女共同参画を推進します。
- ◆結婚・妊娠・出産・育児の切れ目のない支援を推進します。

### (3) 子どもの安全確保

- ◆子どもへの交通安全教育の拡充を図ります。
- ◆関係機関と連携した見守りの輪を構築します。
- ◆被害にあった子どもへの支援を充実させます。

### (4) 支援を必要とする子どもや家庭への支援

- ◆ひとり親家庭、障害児やその保護者が安心して生活できる環境づくりに努めます。
- ◆児童虐待に速やかに対応できる体制を整備します。
- ◆子育てに不安を持つ親等への支援強化を図ります。
- ◆関係課が連携し、子どもの貧困解消を図ります。

## 村民・事業者・地域の役割(自助・共助)

- ◆子育てに対する理解を深め、家族で協力して子育てに取り組めます。
- ◆育児に関わる人が働きやすい職場環境づくりに努めます。
- ◆子育て家庭への支援や地域での見守りに努めます。

## 指標と目標値

指 標	単 位	現状値 (2017年度)	目標値 (2023年度)
地域子育て支援センター利用者数	人	48	54

## 関連する個別計画

- 子ども・子育て支援事業計画
- 過疎地域自立促進計画
- まち・ひと・しごと創生総合戦略

## 学校教育の充実

## 現状と課題

学校教育については、これからの社会がどんなに変化が激しく予測が難しい状況でも自ら課題を発見し、自ら学び、自ら考え、判断して行動できるよう、学校や地域等で学んだことが子どもたちの「生きる力」となることが求められています。これまでも子どもたちの「生きる力」の育成に向けて、確かな学力の育成、豊かな心の醸成、健康な体の育成、信頼される学校づくり、教育環境の充実などに取り組んできました。

確かな学力の育成では、学校訪問等によって現状の把握や必要な指導・助言を行い、学校内外の教職員研修の充実や情報化・国際化に対応する教育の推進を図りながら学力の向上に努めてきました。しかし、国や県の学力調査結果にはまだまだ課題も多く、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が必要です。また特別支援教育の充実を更に推進し、個に応じたきめ細やかな指導の充実を図る必要があります。

豊かな心の醸成では、生徒指導・道徳教育・人権教育等の充実に取り組んできました。しかし、いじめ・不登校等の生徒指導上の問題への対応には、学校や家庭だけでは解決できない難しさがあり、専門機関等との早期の連携が求められます。また、道徳教育や人権教育とともに体験学習やふるさと学習の充実に向け、更なる推進体制の確立が必要です。

健康な体の育成では、教科体育、食育、防災・安全教育等の充実に取り組んできましたが、今後も家庭、地域や関係機関と連携を密にし、日常的な取り組みを充実させていく必要があります。また小学校運動部活動の社会体育移行については、検討委員会を平成27年12月に立ち上げ、検討を重ねてきました。しかし、保護者や児童のニーズの多様化、児童の放課後の時間の過ごし方、指導者不足、二極化等の課題があります。

信頼される学校づくりでは、学校評価の公開や学校運営等に保護者や地域住民の意見を取り入れ、地域と連携を深めながら信頼される学校づくりに努めてきました。しかし、学校と家庭・地域との連携・協働はまだ不十分で、地域とともにある学校づくりに向けてコミュニティ・スクールや地域学校協働活動がうまく機能する体制づくりが求められています。また、保育園・小学校・中学校の更なる連携も、育ち・学びの連続性の視点から、取り組みを強化する必要がありますし、信頼される教職員としての資質・能力の向上と不祥事防止は、信頼される学校づくりの根幹をなすものです。

教育環境の充実では、学校施設の老朽化に伴う修繕や改修工事を行い、通学環境を整備し、スクールバスについても老朽化した車両の入れ替え等を行い、安心して安全な教育環境の充実に取り組んできました。また、グローバル化する社会に対応した教育環境の整備充実のためのICT機器の導入や無線LANの整備も実施してきました。

学校施設や通学環境等の充実については、子どもの命を守る視点からも大切な課題です。「日本で最も美しい村」にある学校としての環境づくりや心づくりにも配慮しながら、地域の担い手となる子どもたちの可能性を広げる教育環境づくりに引き続き取り組んでいく必要があります。

## めざす姿

地域、家庭、学校、行政が連携し、子ども一人ひとりに応じた確かな学力、豊かな心、健康な体等が育まれる学校教育を目指します。

## 施策体系

### 学校教育の充実

- (1) 確かな学力の育成
- (2) 豊かな心の醸成
- (3) 健康な体の育成
- (4) 信頼される学校づくり
- (5) 教育環境の充実

## 施策の展開(公助)

### (1) 確かな学力の育成

- ◆ 学力調査結果の検証を行い、学力向上に向けた課題の解決・改善に取り組みます。
- ◆ ICTの効果的な活用と、情報活用能力の育成に取り組みます。
- ◆ ICTの活用やALT<sup>※1</sup>との連携等により、国際化に対応した指導体制づくりを推進します。
- ◆ 特別支援教育に対する理解を深め、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援に努めます。

### (2) 豊かな心の醸成

- ◆ 子ども同士や、教職員との信頼関係を基盤にした、学級・学校づくりを推進します。
- ◆ 家庭や専門機関等との連携を密にして、いじめ・不登校、問題行動等の未然防止と、早期発見・早期対応に取り組みます。
- ◆ 「特別の教科 道徳」の指導方法の確立を図り、豊かな人間性を育成するための教育内容を充実させます。
- ◆ 子どもたちの社会性や豊かな感性を育む、体験学習の充実を図ります。
- ◆ 村の自然、歴史、文化等の素晴らしさを知るふるさと学習の充実を図ります。
- ◆ 発達段階に応じ、一人ひとりを大切にしたい人権教育に取り組みます。

※1 ALT……日本人教師を補佐し、生きた英語を子どもたちに伝える、英語を母語とする外国語指導助手のこと。

## (3) 健康な体の育成

- ◆部活動指針等をもとに、外部指導者の活用と地域との連携・協働を図り、教科体育の充実と部活動の適正な推進に努めます。
- ◆食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけます。
- ◆関係機関や地域と連携し、登下校時の防犯・交通事故防止に努めます。
- ◆児童・生徒と教職員が災害時に適切な対応ができるよう、防災教育に取り組みます。

## (4) 信頼される学校づくり

- ◆学校と地域が連携・協働して、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動に取り組む体制づくりに努めます。
- ◆小1プロブレム<sup>※1</sup>や中1ギャップ<sup>※2</sup>等の解消につながる連携のあり方を模索し、保・小・中連携の強化を図ります。
- ◆教職員の資質・能力の向上と不祥事防止に努めます。

## (5) 教育環境の充実

- ◆通学路の安全確保に努め、車両や設備は、随時、更新します。
- ◆ICT機器の導入や入れ替え等の年次計画を作成し、実施します。
- ◆校舎の長寿命化計画を作成し、計画的に改修工事を実施します。
- ◆「日本で最も美しい村」にある学校に相応しい取り組みを推進します。

## 村民・事業者・地域の役割(自助・共助)

- ◆家庭では、子どもの心身の健康を育み、生活体験を通して生活習慣や善悪の判断等規範意識の基盤をつくります。
- ◆学校教育に関心を持ち、協力することで、地域ぐるみで子どもの健やかな育ちを見守ります。
- ◆学校現場への地域の積極的な関わりをつくります。

※1 小1プロブレム……入学したばかりの小学校1年生が、遊びから学びへと指導が一変する学校生活に適應できず、学習に集中できない、教師の話が聞けずに授業が成立しないなど学級がうまく機能しない状況のこと。

※2 中1ギャップ……小学校から中学校への進学において新しい環境での学習や生活に移行する段階で、不登校やいじめ等の生徒指導上の諸問題につながっていく事態のことで、学習内容や人間関係の変化、心身の発達(思春期)など幾多の原因が作用し合って起こると考えられているもの。



## 指標と目標値

指 標	単位	現状値 (2017年度)	目標値 (2023年度)
小・中学校へのタブレット端末の設置率	%	57	100

## 関連する個別計画

- 教育大綱
- いじめ防止基本方針
- 過疎地域自立促進計画
- まち・ひと・しごと創生総合戦略



## 施策の大綱 3

## 生涯学習の振興

## 現状と課題

近年、少子・高齢化やグローバル化、情報化の中で子どもを取り巻く環境が大きく変化し、学校や地域等の抱える課題は複雑化、多様化しています。また、地域における教育力の低下や家庭の孤立といった問題もあります。そうした状況の中で、地域と学校がパートナーとして連携・協働し、社会総掛かりによる教育を実現することがますます重要になっていきます。未来を担う子どもたちを健やかに育むためには、学校、家庭及び地域住民がそれぞれの役割と責任を自覚しつつ、地域全体で子どもを育む体制づくりが求められています。

また、生涯にわたって強い自主性を持ち続けられるような拠点、信頼感に満ちた互恵的な人間関係の形成を促し、豊かでうるおいのある地域を創造していく原動力を育むため公民館活動を推進していく必要があります。

教育の原点であり、すべての教育の出発点である家庭での教育は、親の学び場でもあることから、子育てに喜びを見いだせるような支援を行う必要があります。

本村では、これまで生涯学習事業として、囲碁・簡単レシピ・わらじづくり・ひよっこ踊り・ハッピー体操・くまむら歴史研究の6講座を実施してきました。また、学習成果の発表の機会として、生涯学習フェスティバルを毎年3月にくまむら文化祭と同時開催してきました。

しかし、近年、講座数の減少や受講生の高齢化も目立ち始めており、村民のニーズを的確に把握した講座内容の充実や開催日時等の見直しなどが求められています。

また、仕事上や社会生活のあらゆる面において、新しい知識や技術の習得など質の高いニーズが高まっていることから、学校や行政機関、社会教育関係団体などと連携した取り組みを推進していく必要があります。

人権問題は、憲法が保障する基本的人権を侵害する重大な問題であり、同和問題、水俣病患者をめぐる人権、ハンセン病回復者等の人権、女性や子ども、高齢者、障害者、外国人、LGBT<sup>※1</sup>などに関する様々な問題が、依然として存在しています。

本村では、人権教育として青少年育成も含めた研修会等を毎年実施し、人権意識の高揚を図っています。しかし、毎年参加者の固定化がみられることから、村民一人ひとりが、人権問題について正しい知識を身につけるとともに、自らの問題としてとらえ、あらゆる差別や偏見をなくすよう人権教育、啓発に取り組んでいく必要があります。

## めざす姿

村民一人ひとりが生きがいのある生活を送るため、生涯を通して学ぶ機会を充実させ、学んだ知識や能力を、地域や暮らしの場で活かすことができる生涯学習を目指します。

※1 LGBT… レズビアン(女性同性愛者)、ゲイ(男性同性愛者)、バイセクシュアル(両性愛者)、トランスジェンダー(性同一性障害者等の身体の性と心の性が一致しない者)の頭文字を合わせた言葉で、性的少数者のこと。

## 施策体系

### 生涯学習の振興

- (1) 地域学校協働活動の推進
- (2) 公民館活動の推進
- (3) 家庭・地域教育力向上への支援
- (4) 生涯学習事業の充実
- (5) 社会教育関係団体との連携
- (6) 人権教育・啓発の推進

## 施策の展開(公助)

### (1) 地域学校協働活動の推進

- ◆ 学校を核とした地域づくりを目指します。
- ◆ 地域全体で子どもたちの学びや成長を支えます。
- ◆ 地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して様々な活動を実践します。

### (2) 公民館活動の推進

- ◆ 体育活動に加えて、幅広く文化活動ができるよう公民館分館の活動を支援します。

### (3) 家庭・地域教育力向上への支援

- ◆ 「くまもと家庭教育支援条例」を柱とした家庭の役割や子どもの教育に対する責務等について理解を広めつつ、学習機会を提供します。
- ◆ 地域と学校が連携・協働して、地域全体で子どもたちの成長を支え、地域を創生する教育を推進します。

### (4) 生涯学習事業の充実

- ◆ 学習ニーズにあった講座の企画・運営を充実します。
- ◆ 様々な知識や技術をもつ地域人材を登用し、伝統・文化などの学習や世代間の交流を図ります。

### (5) 社会教育関係団体との連携

- ◆ 学びを通じた仲間づくりと、子供会や青年団、老人クラブなどの団体とのネットワークづくりを推進します。
- ◆ 学習成果が活かされる場を充実させます。
- ◆ 学んだ知識や技能が地域課題の解決につながる仕組みづくりに努めます。

### (6) 人権教育・啓発の推進

- ◆ 職員・村民への人権問題に関する学習機会の提供と、内容の充実を図ります。
- ◆ 啓発活動により人権を尊重する意識の高揚を図ります。



## 村民・事業者・地域の役割(自助・共助)

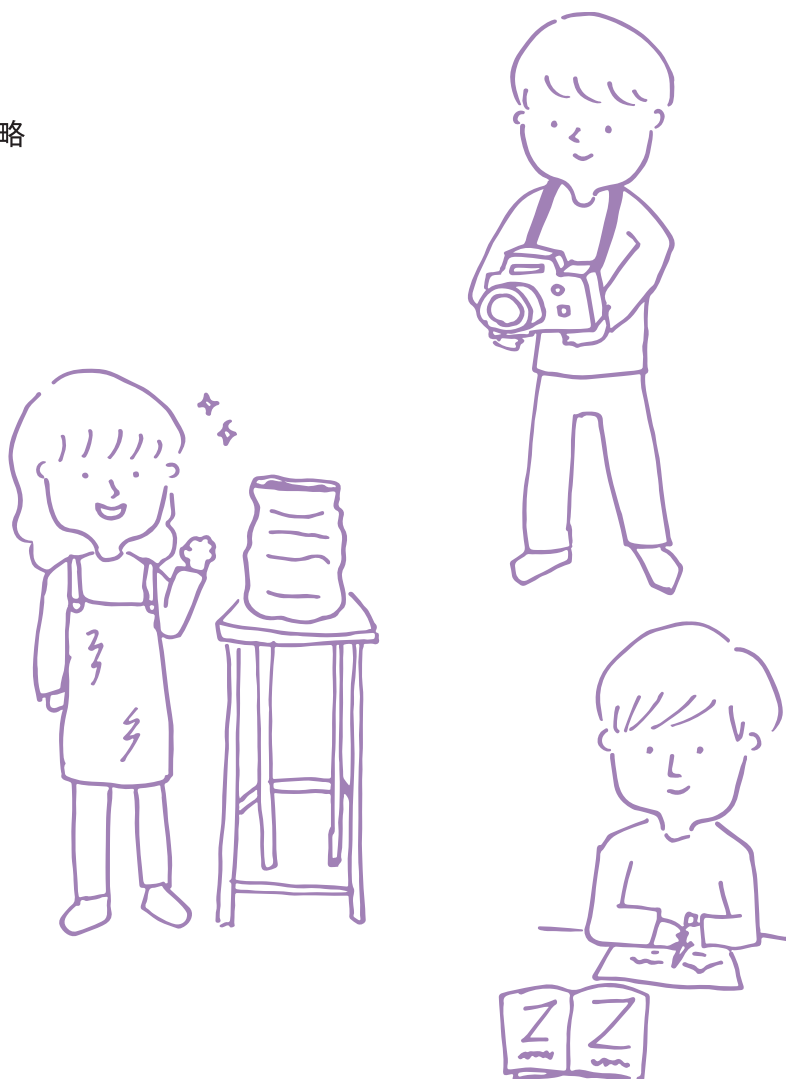
- ◆生涯学習講座に参加し、交流の輪を広げます。
- ◆基本的人権を尊重し、自ら人権意識の高揚に努めます。
- ◆事業所内での人権啓発を実践し、雇用や待遇による差別をなくします。
- ◆個々の学習や活動で得た知識や技能などを、地域の課題解決やむらづくりに活かします。

## 指標と目標値

指 標	単 位	現状値 (2017年度)	目標値 (2023年度)
生涯学習講座の受講者数	人	95	120

## 関連する個別計画

- 社会教育計画
- 過疎地域自立促進計画
- まち・ひと・しごと創生総合戦略





## 施策の大綱 4

# 生涯スポーツの振興

### 現状と課題

近年、健康・体力づくりへの関心は高く、ウォーキングやグラウンドゴルフを行う等、多くの住民が生活の一部としてスポーツの必要性を感じています。しかしながら、「仕事」や「始めるきっかけの難しさ」などの理由により、なかなか取り組むことができない住民が多いのが現状です。

総合型地域スポーツクラブ「くまむらスマイルスポーツクラブ」においては、指導者の高齢化や指導者不足、会員の固定化が顕著であり、会員数を増加させることが課題となっています。さらには、小学校運動部活動の社会体育への移行に伴い、児童のスポーツ環境の確保、支援を図る必要があります。

村民のスポーツ振興及び健康づくりの拠点として整備した球磨村総合運動公園は、スポーツイベントやレクリエーション活動に村内外を問わず活用されていますが、落成から20年が経過したため、設備の劣化や機能低下等が見られます。今後、計画的な整備・改修を行う必要があります。

このような課題解決と村の活性化に向けて、これまで以上に体育協会やスポーツ推進委員会を中心とした関係機関との連携を図り、各団体の育成や指導者の養成、ニーズに対応したイベントの開催など、スポーツによる地域づくりが必要となってきています。

### めざす姿

関係団体等と連携・協働を図りながら、村民がスポーツに親しむきっかけづくりやスポーツによる生きがいを推進し、健康を意識したスポーツの振興とスポーツを通じた交流の拡大を目指します。

### 施策体系

#### 生涯スポーツの振興

- (1) 指導者の確保と資質の向上
- (2) 各種スポーツ団体の育成と活動支援
- (3) 体育施設の整備・充実及び有効活用

## 施策の展開(公助)

### (1) 指導者の確保と資質の向上

- ◆定期的な情報交換と、スポーツイベント等の企画や運営を支援して、スポーツ推進委員の育成に努めます。
- ◆小学校運動部活動の社会体育移行に伴い、新たな指導者の育成を図ります。

### (2) 各種スポーツ団体の育成と活動支援

- ◆スポーツイベントの開催、競技スポーツの充実を図り、参加促進に努めます。
- ◆体育協会をはじめ各種競技団体との連携を強化します。
- ◆体育協会加盟の各種目協会の自主的活動の支援を強化します。
- ◆「くまむらスマイルスポーツクラブ」活動の支援を強化します。
- ◆スポーツクラブに限らず、幅広い活動を目指すための情報収集や、会員の増加につながるようクラブ間の連携の強化を図ります。

### (3) 体育施設の整備・充実及び有効活用

- ◆定期的に設備の点検を実施し、維持管理と有効活用を図ります。
- ◆各種スポーツニーズに対応した用具・設備の充実を図ります。

## 村民・事業者・地域の役割(自助・共助)

- ◆スポーツ・レクリエーション活動に積極的に参加します。
- ◆地域ぐるみでスポーツに親しむ機会や環境づくりに努めます。
- ◆スポーツ活動への理解に努め、支援します。

## 指標と目標値

指 標	単 位	現状値 (2017年度)	目標値 (2023年度)
くまむらスマイルスポーツクラブ参加者数	人	175	220
村内体育施設利用者数	人	45,928	50,000

## 関連する個別計画

- 社会教育計画
- 過疎地域自立促進計画

## 施策の大綱 5 文化の振興

### 現状と課題

村民の文化に対する意識を高めるため、文化祭を毎年3月に開催していますが、多様化する村民のニーズに対応するため、文化事業の充実を図る必要があります。

また、「文化協会」は、年々会員の固定化や高齢化により会員数、サークル数の減少が顕著であり、これに伴い活動成果の発表機会が減少しています。

村内の文化財については、指定の候補に挙がっていますが、指定困難となっている文化財が多くあります。今後においても、このような未指定の文化財や古文書等、預託・寄贈された文化財の指定・保存及び活用が課題となってきます。

民俗文化の保存・継承については、ふれあいまつり「ふるさと文化交流」や各地区神社大祭等に保存団体が出演されていますが、近年、少子化・高齢化の進行により、存続が危ぶまれる団体が発生しています。

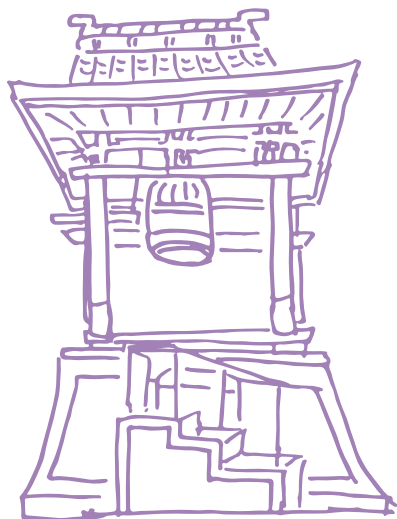
### めざす姿

文化芸術に触れる機会を創り、豊かな感性の育成と、文化財や史跡の保護・活用を図り、文化的価値の理解を深めるとともに、貴重な歴史的資源を後世へ継承していく村を目指します。

### 施策体系

#### 文化の振興

- (1)文化活動の推進
- (2)文化財の保護・活用
- (3)民俗文化の保存・継承支援





## 施策の展開(公助)

### (1)文化活動の推進

- ◆精神的・文化的な豊かさを高めるために、地域に根差した魅力ある文化活動の充実に努めます。
- ◆地域と協働した文化活動を促進するとともに、住民が身近に文化活動に触れ、気軽に参加できる文化協会の体制づくりを図ります。

### (2)文化財の保護・活用

- ◆文化財保護専門委員会の活動により、文化財の調査を行い、有形・無形文化財の保護に努めます。
- ◆村内の文化財を有効に活用し、文化財の保護を啓発する活動を進め、歴史教育を村民みんなで推進します。

### (3)民俗文化の保存・継承支援

- ◆村内各地域に伝わる民族芸能等の文化遺産を保存・継承していくため、貴重な記録等を広く住民間で共有を図ります。
- ◆子どもたちへ学ぶ機会を提供することで、後継者の育成を図ります。
- ◆民族資料の整理と、調査保存に努めます。

## 村民・事業者・地域の役割(自助・共助)

- ◆地域文化を学び、関心を持ちます。
- ◆地域文化の保存・継承に努めます。

## 指標と目標値

指 標	単 位	現状値 (2017年度)	目標値 (2023年度)
指定文化財の指定件数	件	14	18

## 関連する個別計画

- 社会教育計画
- 過疎地域自立促進計画

